



平成27年5月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年4月3日

上場取引所 東

上場会社名 小津産業株式会社

コード番号 7487 URL <http://www.ozu.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 中田 範三

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長

(氏名) 稲葉 敏和

TEL 03-3661-9400

四半期報告書提出予定日 平成27年4月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年5月期第3四半期の連結業績(平成26年6月1日～平成27年2月28日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年5月期第3四半期	29,043	△1.6	492	4.6	562	12.1	377	22.8
26年5月期第3四半期	29,515	11.1	471	72.3	501	27.7	307	57.1

(注) 包括利益 27年5月期第3四半期 746百万円 (200.8%) 26年5月期第3四半期 248百万円 (△31.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年5月期第3四半期	45.15	—
26年5月期第3四半期	36.75	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%		
27年5月期第3四半期	22,113		12,345		55.8	
26年5月期	20,578		11,699		56.9	

(参考) 自己資本 27年5月期第3四半期 12,345百万円 26年5月期 11,699百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭				
26年5月期	—	0.00	—	12.00	12.00
27年5月期	—	0.00	—		
27年5月期(予想)				15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

27年5月期期末配当金の内訳 普通配当: 12円00銭 記念配当: 3円00銭

3. 平成27年5月期の連結業績予想(平成26年6月1日～平成27年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	38,600	△1.6	460	△10.7	510	△6.6	550	60.4	65.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年5月期3Q	8,435,225 株	26年5月期	8,435,225 株
27年5月期3Q	70,500 株	26年5月期	70,330 株
27年5月期3Q	8,364,790 株	26年5月期3Q	8,365,119 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続きが実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策や日本銀行による金融政策の効果および円安の進行による企業収益の改善等が見られ、総じて緩やかな回復基調で推移いたしました。一方、消費増税に伴う駆け込み需要の反動による個人消費の減退傾向は長期化しており、依然として回復には至っていないものの、その影響は徐々に和らぎつつあります。海外におきましては、中国景気の減速感やユーロ圏経済の停滞感が続いているものの、米国経済の安定的な成長ペースに牽引され、総じて緩やかな回復基調で推移いたしました。

このような経営環境のもと、当社グループといたしましては、引き続き「海外戦略の強化」、「新事業・新商品の創出」、「コンバーター機能の強化・拡充」、「グループ各社の連携強化」、「人材育成」という中長期的な経営戦略に基づき営業活動を展開してまいりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は290億43百万円（前年同期比1.6%減）、経常利益は5億62百万円（前年同期比12.1%増）、四半期純利益は3億77百万円（前年同期比22.8%増）となりました。

当第3四半期連結累計期間のセグメント別の状況は以下のとおりであります。

(不織布事業)

エレクトロニクス分野では、スマートフォン、タブレット端末用途および電装化が進む自動車関連用途のデバイス産業向けの販売が引き続き好調に推移しているものの、デジタルカメラ用途の販売低迷等の影響を受け、ほぼ横ばいで推移いたしました。

コスメティック分野では、中国市場向けおよび国内市場向けの販売が引き続き好調に推移いたしました。

メディカル分野では、中国市場向け商品の一部が回復基調を維持しているものの、医療用ガーゼの販売が低迷し、ほぼ横ばいで推移いたしました。

小津（上海）貿易有限公司では、デジタルカメラ用途の販売が低迷しているものの、コスメティック分野の販売が伸長し、前年同期を上回りました。

ウェットティッシュ等の製造販売を営む株式会社ディプロでは、除菌用途の商品が好調なもの、小売業向けのPB商品の生産出荷数が低迷し、売上高は微減となりました。利益面につきましては、売上総利益率が若干低下したこともあり、前年同期を下回りました。

アグリ分野を担う日本プラントシーダー株式会社では、昨年初めに発生した関東・甲信地方における降雪被害や昨年夏における豪雨長雨被害の影響の長期化により、売上高、利益面ともに減少いたしました。

これらの結果、売上高は105億57百万円（前年同期比3.0%増）、セグメント利益は5億95百万円（前年同期比9.5%増）となりました。

(家庭紙・日用雑貨事業)

アズフィット株式会社が営む家庭紙・日用雑貨事業では、消費増税に伴う駆け込み需要があったものの、その後の反動による消費低迷の長期化や顧客である小売業界における経営統合および業務・資本提携の動きに伴う商流変更の影響が強まり、厳しさを増す事業環境において販売が伸び悩み、売上高、利益面ともに前年同期を下回りました。

これらの結果、売上高は184億57百万円（前年同期比4.1%減）、セグメント損失は77百万円（前年同期は41百万円のセグメント損失）となりました。

(その他の事業)

その他の事業では、売上高は28百万円（前年同期比10.9%増）、セグメント損失は1百万円（前年同期は2百万円のセグメント利益）となりました。

(注) 日本プラントシーダー株式会社およびアズフィット株式会社の決算期は2月末日のため、当第3四半期連結累計期間には各社の平成26年3月から平成26年11月の実績が、株式会社ディプロの決算期は3月末日のため、当第3四半期連結累計期間には同社の平成26年4月から平成26年12月の実績が反映されております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

資産につきましては、前連結会計年度末に比べて15億35百万円増加し、221億13百万円となりました。主な要因は、「受取手形及び売掛金」の増加14億25百万円、「投資有価証券」の増加5億74百万円、「現金及び預金」の減少4億21百万円であります。

(負債)

負債につきましては、前連結会計年度末に比べて8億89百万円増加し、97億68百万円となりました。主な要因は、「支払手形及び買掛金」の増加7億79百万円、「繰延税金負債」の増加1億93百万円であります。

(純資産)

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べて6億45百万円増加し、123億45百万円となりました。主な要因は、「利益剰余金」の増加2億77百万円、「その他有価証券評価差額金」の増加3億62百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想に関しましては、平成27年1月13日公表の数値から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,604,486	3,182,830
受取手形及び売掛金	6,395,684	7,821,224
商品及び製品	1,795,825	1,690,917
原材料	403,155	428,423
繰延税金資産	105,980	54,924
その他	511,753	492,529
貸倒引当金	△12,335	△13,449
流動資産合計	12,804,549	13,657,401
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	5,578,630	5,739,883
減価償却累計額	△3,638,800	△3,719,828
建物及び構築物(純額)	1,939,830	2,020,054
機械装置及び運搬具	1,064,579	1,176,053
減価償却累計額	△947,600	△996,265
機械装置及び運搬具(純額)	116,979	179,787
土地	1,785,186	1,785,186
リース資産	87,581	81,490
減価償却累計額	△54,342	△57,490
リース資産(純額)	33,238	23,999
建設仮勘定	406,337	434,597
その他	333,019	343,446
減価償却累計額	△274,904	△292,688
その他(純額)	58,114	50,758
有形固定資産合計	4,339,686	4,494,385
無形固定資産		
のれん	22,055	—
その他	325,471	309,577
無形固定資産合計	347,527	309,577
投資その他の資産		
投資有価証券	2,505,753	3,079,944
長期貸付金	14,627	12,145
繰延税金資産	34,543	30,939
その他	558,723	538,390
貸倒引当金	△26,554	△8,855
投資その他の資産合計	3,087,094	3,652,564
固定資産合計	7,774,307	8,456,526
資産合計	20,578,857	22,113,927

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年2月28日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,268,443	5,047,868
短期借入金	870,000	790,000
1年内返済予定の長期借入金	50,000	—
リース債務	12,828	9,683
未払法人税等	150,920	81,553
賞与引当金	46,761	50,729
役員賞与引当金	1,100	—
厚生年金基金解散損失引当金	58,879	—
その他	730,990	921,279
流動負債合計	6,189,924	6,901,113
固定負債		
社債	1,000,000	1,000,000
長期借入金	900,000	920,000
リース債務	21,916	15,282
繰延税金負債	466,255	659,441
役員退職慰労引当金	152,523	130,571
退職給付に係る負債	92,148	92,761
その他	56,605	49,364
固定負債合計	2,689,450	2,867,420
負債合計	8,879,374	9,768,534
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,322,214	1,322,214
資本剰余金	1,374,967	1,374,967
利益剰余金	8,291,947	8,569,258
自己株式	△82,847	△83,122
株主資本合計	10,906,281	11,183,317
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	788,142	1,151,039
為替換算調整勘定	5,058	11,036
その他の包括利益累計額合計	793,200	1,162,075
純資産合計	11,699,482	12,345,393
負債純資産合計	20,578,857	22,113,927

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成26年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年6月1日 至平成27年2月28日)
売上高	29,515,265	29,043,840
売上原価	25,031,870	24,670,945
売上総利益	4,483,394	4,372,895
販売費及び一般管理費	4,012,090	3,880,096
営業利益	471,304	492,798
営業外収益		
受取利息	2,018	2,284
受取配当金	44,571	44,598
持分法による投資利益	—	1,439
為替差益	—	34,650
その他	16,379	13,722
営業外収益合計	62,968	96,695
営業外費用		
支払利息	20,006	19,835
持分法による投資損失	834	—
その他	11,774	7,178
営業外費用合計	32,615	27,014
経常利益	501,657	562,479
特別利益		
保険返戻金	2,198	14,417
受取保険金	7,000	—
厚生年金基金解散損失引当金戻入額	—	58,879
特別利益合計	9,198	73,297
特別損失		
固定資産除却損	80	1,694
その他	—	150
特別損失合計	80	1,844
税金等調整前四半期純利益	510,774	633,931
法人税、住民税及び事業税	182,980	203,646
法人税等調整額	20,342	52,595
法人税等合計	203,322	256,242
少数株主損益調整前四半期純利益	307,451	377,689
少数株主利益	—	—
四半期純利益	307,451	377,689

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成26年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年6月1日 至平成27年2月28日)
少数株主損益調整前四半期純利益	307,451	377,689
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△65,383	362,897
為替換算調整勘定	6,099	5,977
その他の包括利益合計	△59,284	368,875
四半期包括利益	248,167	746,564
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	248,167	746,564
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年6月1日至平成26年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	不織布	家庭紙・ 日用雑貨	計				
売上高							
外部顧客への売上高	10,246,365	19,242,932	29,489,297	25,967	29,515,265	—	29,515,265
セグメント間の内部売上高又は振替高	314,455	6,546	321,002	100,699	421,702	△421,702	—
計	10,560,820	19,249,479	29,810,300	126,667	29,936,967	△421,702	29,515,265
セグメント利益又は損失(△)	543,559	△41,490	502,069	2,300	504,369	△33,065	471,304

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業であります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△33,065千円は、セグメント間取引消去額であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成26年6月1日至平成27年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	不織布	家庭紙・ 日用雑貨	計				
売上高							
外部顧客への売上高	10,557,285	18,457,770	29,015,055	28,784	29,043,840	—	29,043,840
セグメント間の内部売上高又は振替高	183,263	4,901	188,164	100,415	288,580	△288,580	—
計	10,740,548	18,462,671	29,203,220	129,200	29,332,420	△288,580	29,043,840
セグメント利益又は損失(△)	595,341	△77,920	517,421	△1,230	516,190	△23,392	492,798

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業であります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△23,392千円は、セグメント間取引消去額であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。